



私大協発第16354号
令和2年11月9日

加盟各大学 理事長 殿

日本私立大学協会
会長代行 小原 芳明
私立大学基本問題研究委員会
担当理事 黒田 壽二
教育研究充実部会
部会長 小林 弘祐

(印影印刷)

令和2年度（通算第1回）「私立大学教育研究充実協議会」の開催について

深秋の候、貴学ますますご隆昌の趣、慶賀の至りに存じ上げます。

早速ではございますが、本協会の本年度事業計画に基づき、標記の協議会を下記および同封別紙「日程（予定）」により開催致したくご案内を申し上げます。

本協会では、昭和55年度に「教育学術充実研究委員会」を設置して以来、私立大学の教育および学術研究にかかわる調査研究と「教育学術充実協議会」の開催により、加盟各大学の教育および学術研究の充実に資して参りましたことはご高承の通りと存じます。

令和2年度に至り、教育及び学術研究の充実発展と、新たな課題であるその質保証は、私立大学経営とも密接に関係し、不可分にあることを踏まえて、同委員会を発展的解消し、新たに私立大学基本問題研究委員会の下に「教育研究充実部会」を設置して、私立大学の教育と学術研究に関わる政策研究と、学長等を対象とする「私立大学教育研究充実協議会」の開催を行うことと致しました。

第1回となる本年度の協議会では、大学現場における新型コロナウイルス感染症への対応が、凶らずも大学教育および大学の新たなパラダイムの到来を予兆させているとの認識に立ち、メインテーマを「ニューノーマル時代の私立大学」と題して、遠隔授業の可能性と課題、教学マネジメントを含む大学教育の質保証の視点から、新時代の入口に立つ私立大学の教育・学術研究と経営の在り方について研究・協議を行いたいと存じます。

つきましては、学務ご多忙の折とは存じますが、何卒、当協議会の重要性をご斟酌たまわり、尊台をはじめ適任者の方にご参加いただけますようお願い申し上げます。

記

一. 日 時：令和2年12月15日（火） 14：00～16：30

二. 開催方法：オンライン（Zoomウェビナー）

三. 研究・協議テーマ等（詳細は、別紙1「日程（予定）」をご覧ください。）

1. ニューノーマル時代の大学（仮題）
2. 今後の大学教育の質保証を考える（仮題）
3. ICT活用による新しい授業・新しいキャンパス
～工学院大学のコロナ禍での授業設計の取り組みと将来像～

四. 参加対象者：本協会加盟各大学の学長および理事長、副学長、教育研究担当理事等の相当者

注) 当協議会の前身となる「教育学術充実協議会」では、「登録委員」制度を設け、教育・学術研究充実の企画推進責任者のご出席をお願いしていましたが、本年度より、同協議会が発展的解消されたことに伴い、同制度もあわせて廃止させていただくこととなりました。長年のご協力を改めまして厚く御礼申し上げます。

五. 協議会出席のための費用について

協議会のご参加にあたりましては、参加会費は必要ございません。

六. お申し込みについて

1. **申込方法**：本協会ウェブサイト (<https://www.shidaikyo.or.jp/>) の「加盟大学専用サイト」よりお申し込みくださいますようお願い申し上げます。なお、「加盟大学専用サイト」へのログイン方法は、別紙2「ログイン方法」をご確認ください。

2. **定 員**：1大学2名(2アカウント)まで

配信時の混乱を避けるため、御協力賜りますようお願い申し上げます。

3. **締 切 日**：令和2年12月4日(金)まで

4. **留意事項**：

- (1) お申し込み後、自動送信の申込受付メールが送信されますので、受信のご確認をお願い申し上げます。届かない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。
- (2) 協議会配信用URLは、後日ご入力いただいたメールアドレス宛にご連絡いたします。また、配付資料のダウンロードURLについても同メールにてご案内いたします。
- (3) 協議会終了後の録画配信を予定しております。協議会当日にご出席できず、録画の視聴をご希望の場合は、ご参加申込と同様に、本協会ウェブサイトの「加盟大学専用サイト」よりお申し込みください。

七. 個人情報の取り扱いについて

本協会は、個人情報を適切な安全対策のもと管理し、漏洩などの防止に努めます。また、法令などに基づき開示する場合を除き、ご本人の同意なく開示・提供は致しません。

本協会は、当該協議会に参加申し込みをいただいた「個人情報」を本年度の当協議会の運営および今後の研修・研究活動に必要な範囲において利用させていただきます。

八. その他

1. 協議会の開会直前は回線が混み合います。時間に余裕を持って接続を行っていただけますようお願い申し上げます。
2. 本協議会では、協議成果をさらに広めるため、協議会終了後、協議会報告書を刊行しておりますので、ご活用ください。

九. お問い合わせ

日本私立大学協会「私立大学教育研究充実協議会」係 (担当：小島・遅澤)

[TEL] 03-3261-7049

[E-mail] kyougaku@shidaikyo.or.jp

[住 所] 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館9階

* [問い合わせ時間] 月曜日～金曜日 9時～17時

以 上

令和2年度「私立大学教育研究充実協議会」日程（予定）

【日 時】令和2年12月15日（火）14：00～16：30

【開催方法】オンライン（Zoom ウェビナー）

【参加者】本協会加盟大学の学長および理事長・副学長・教育研究担当理事等の相当者

メインテーマ「ニューノーマル時代の私立大学」

－ 接 続 確 認（13：00～14：00） －

－ オリエンテーション（13：50～14：00） －

14:00 ～ 14:10	I. 開 会 ・・・日本私立大学協会常務理事・事務局長 小 出 秀 文 II. 挨 拶 ・・・私立大学基本問題研究委員会担当理事 黒 田 壽 二 金沢工業大学学園長・総 長 私立大学基本問題研究委員会教育研究充実部会部会長 小 林 弘 祐 “ ”・・・北 里 大 学 理 事 長
14:10 ～ 14:55 [45分]	III. 協 議 1. 基調講演「ニューノーマル時代の大学」（仮題） 講 師：独立行政法人日本学生支援機構理事長 吉 岡 知 哉 氏 ⇒新型コロナウイルスの感染拡大は、教育と学術研究の「継続」に向けた緊急対応を余儀なくさせただけでなく、新たな大学のあり方を問いかけている。教育研究の充実、その質保証と情報公開、経済的援助を含む学生支援の視点等を含め、ニューノーマル時代の大学像を俯瞰する。
	《 休憩 5分 》
15:00 ～ 15:40 [40分]	2. 講演「今後の大学教育の質保証を考える」（仮題） 講 師：共愛学園前橋国際大学学長 大 森 昭 生 委員 ⇒近年、大学教育の質保証が高等教育政策の重要課題となっている。コロナにより新たなステージを迎えた大学教育の質保証についていかなる姿を描くのか。中教審の「教学マネジメント指針」を軸とする内部質保証、外部質保証である大学設置基準や認証評価のあり方等から今後の大学教育の質保証を考察する。
	《 休憩 5分 》
15:45 ～ 16:25 [40分]	3. 講演「ICT活用による新しい授業・新しいキャンパス ～工学院大学のコロナ禍での授業設計の取り組みと将来像～」 講 師：工学院大学情報学部長・教授 蒲 池 みゆき 氏 ⇒コロナ禍のなかでICTを活用した教育は加速度的に展開したが、今後の大学教育にどのような影響をもたらすのか。その取り組みから、遠隔授業の可能性と課題、面接授業との関係性など、ICTを活用した新しい授業やキャンパスの在り方について考える。
16:25 ～ 16:30	IV. 閉 会 ・・・私立大学基本問題研究委員会教育研究充実部会部会長 小 林 弘 祐 北 里 大 学 理 事 長

※本協会は大学単位での加盟となるため、役職も「大学名」＋「現役職名」で表記しております。

以 上

日本私立大学協会加盟大学専用サイト ログイン方法

URL : <https://www.shidaikyo.or.jp/>



①日本私立大学協会ウェブサイト

<https://www.shidaikyo.or.jp/>

に、アクセスして、
右上「加盟大学専用サイトログイン」
をクリックしてください

URL : <https://www.shidaikyo.or.jp/member/>



②日本私立大学協会

加盟大学専用サイトに移動

<https://www.shidaikyo.or.jp/member/>

③加盟大学専用サイトの

ログイン ID・パスワードを入力

ID・パスワードは、サイトリニューアルに伴い、2020年1月より変更いたしました。詳細は各大学からご登録いただきました情報管理担当者にお問い合わせください。(情報管理担当者不明の場合は、本協会までご連絡ください。)



④「研修会・協議会など参加申込み」を選択



⑤該当の研修会・協議会を選択して、
必要事項を入力し申し込んでください

※自動返信の「申込受付」メールが届いたことを**必ずご確認ください**。

特に、オンラインによる研修会・協議会の開催にあたっては、ご入力いただいたメールアドレス宛に接続先 URL 等をご連絡いたします。
自動返信のメールが届かない場合は、ご入力いただいたアドレスを再度ご確認くださいませようお願いいたします。